

学科推薦本コーナー

理学部、工学部、総合情報学部の各学科の先生が、新入生の皆さんに読んで貰いたい本をご紹介します。これからの大学生活の中で、学ぶ分野は学科によって異なってきますが、自分が在籍している学科のみならず他の学科の先生の推薦する本も是非読んでみてください。

理学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④推薦コメント ⑤推薦者

応用数学科

①モスクワの数学ひろば2 ～幾何篇／面積・体積・トポロジー～

②ゲイドマンほか著・蟹江幸博訳（蟹江幸博監修） ③海鳴社

④オイラーの流れをくむロシアの数学は、若い才能を育てることに力をそそぐ伝統がある。

1934年からモスクワ大学で高校生向けの公開講座が開かれ、コルモゴロフ、ゲリファント、ポントリヤーギンなど伝説的な数学者が講義をしてきました。

その伝統を受け継ぐモスクワ独立大学での講義から、選りすぐって翻訳です。 ⑤高嶋恵三先生

①モスクワの数学ひろば3 ～代数篇／対称性・数え上げ～

②パラモノヴァ他著・武部尚志訳（蟹江幸博監修） ③海鳴社

④上記の本の姉妹編。次の三つの話題からなる：パラモノヴァ「数学における対象性」、ヴインベルク「多項式の対称性」、コーハシ「ルーク数とルーク多項式」。 ⑤高嶋恵三先生

化学科

①新化学読本：化ける、変わるを学ぶ ②山崎幹夫著 ③白日社

④この本では、「化学」を「変化を知る学問」ととらえ、21種類の代表的な有機化合物について発見の歴史などをわかりやすく説明しています。化学構造式が随所に出てきますが話のおもしろさにどんどん引き込まれますので、楽に読み進めることができます。 ⑤若松寛先生

①原子論の歴史（上・下） ②板倉聖宣著 ③仮説社

④高名な物理学者のファインマンが「後世にたった一つの文章しか残せないとしたら、それは原子仮説だろう」ということを言ったということが紹介されています。この本には古代ギリシャから20世紀までの原子の発見にまつわる話がやさしく書かれています。ものごとの本質がよくわかるように書かれており、名著だと思えます。 ⑤大谷槻男先生

応用物理学科

①不都合な真実：地球温暖化の危機。ECO入門編

②アル・ゴア著 枝廣淳子訳 ③ランダムハウス講談社

④地球温暖化の広範な詳細なデータや写真を通して、如何に温暖化がスピードアップされているかが鮮明に描かれ、ただ便利さだけを追求して来た消費社会をも再構築しなければ益々住み難い地球になる。今こそ、各人が何らかのエコ活動を起こす事が必要。新入生諸君必読の書。 ⑤大森健三先生

①岡山孤児院物語：石井十次の足跡 ②横田賢一著 ③山陽新聞社

④路面電車門田屋敷駅北に岡山博愛会病院があります。その玄関左に胸像があることをご存知でしょうか。今から百年ほど前、民間施設である岡山孤児院を設立した石井十次の胸像です。この福祉の父と言われる石井十次の足跡をたどってはいかががでしょうか。 ⑤尾崎眞啓先生